

報道解禁日時：

平成26年4月28日（月）16時

<http://web.sapmed.ac.jp/>

報道発表資料の配付日時 4月22日（火）9時00分

「再生医療分野で国内初の細胞医薬品」の事業化へ向けた特許ライセンス契約

調印式および記者発表のご案内

～再生医療の事業化に本格参入するニプロ株式会社との連携強化～

札幌医科大学（理事長・学長 島本 和明、北海道札幌市）とニプロ株式会社（代表取締役社長 佐野 嘉彦、大阪市北区）は、「脳梗塞及び脊髄損傷の治療に用いる自己骨髄間葉系幹細胞」の特許について、ライセンス契約を締結することとなりました。

ニプロ株式会社は、医療機器・医薬品分野において総合的な技術を有しており、本特許を活用することで、再生医療分野では国内初の細胞医薬品の事業化を推進し、画期的な再生治療の一般医療化を目指します。

今回の特許ライセンス契約の特徴としては、札幌医科大学における独自の研究成果を元に純国産の細胞医薬品を開発し、薬事法に基づく再生医療分野での医薬品としては国内初の製造販売を予定するものです。

本特許は、患者自身の骨髄に含まれる間葉系幹細胞を体外で約1万倍に増殖させ、その細胞を患者の静脈から点滴の要領で投与する治療にかかるものであり、患者自身の細胞を用いるため副作用が起こりにくく、外科的手術を必要としない点で画期的です。間葉系幹細胞は、神経や血管などに分化する能力をもった幹細胞で、この再生治療では自己の間葉系幹細胞が損傷した脳神経や血管、中枢神経を修復することで、脳梗塞や脊髄損傷の後遺障害に伴う神経症候や機能障害の改善、および要介護度の改善が期待出来ます。

本学において既に、脳梗塞患者に対する医師主導治験（第Ⅲ相試験）を2013年2月に独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）に届け出、現在、附属病院において治験を実施しています。また、昨年12月には、脊髄損傷患者に対する医師主導治験（第Ⅱ相）も開始しました。

このように、本学では再生医療分野において国内初となる細胞医薬品の実用化に向けた研究を進めております。この度、本研究成果を全国の患者さんへ広く還元するため、保険診療への展開を見据え、再生医療医薬品の製造販売を行うパートナーとして、ニプロ株式会社とライセンス契約を締結することとなりました。

ニプロ株式会社がこれまで培ってきた医療機器・医薬品開発の技術により、本再生医療の保険診療への道を開き、多くの患者さんを後遺症の苦しみから救えるよう、両者で協力し事業化を進めてまいります。

つきましては、本ライセンス契約の調印式および記者発表を別紙のとおり開催しますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。なお、この発表についての報道解禁は記者会見終了後といたしますので、ご協力をお願い申し上げます。

「再生医療分野で国内初の細胞医薬品」の事業化へ向けた特許ライセンス契約

調印式および記者発表のご案内

記

日時 平成26年4月28日(月) 15時～16時

場所 札幌医科大学 基礎医学研究棟5階会議室

(札幌市中央区南1条西17丁目 別紙地図をご参照ください。)

出席者(予定)

島本 和明 札幌医科大学 理事長・学長

山下 敏彦 札幌医科大学附属病院 病院長、医学部整形外科学講座 教授

本望 修 札幌医科大学医学部附属フロンティア医学研究所神経再生医療学部門 教授

佐野 嘉彦 ニプロ株式会社 代表取締役社長

増田 利明 ニプロ株式会社 常務取締役総合研究所長

次第(予定)

1. 開会(司会:札幌医科大学附属産学・地域連携センター 高橋副センター長)
2. ご挨拶 札幌医科大学 理事長・学長 島本 和明
ニプロ株式会社 代表取締役社長 佐野 嘉彦
3. 調印式
4. 医師主導治験の概要説明
5. 再生医療事業化に向けた今後の取組みについて
6. 質疑応答
7. 閉会

<本件に関するお問い合わせ先>

ニプロ株式会社 広報担当 TEL:06-6375-6700

札幌医科大学 経営企画課広報 阿部 TEL:011-611-2111(内線2165)

※当日参加される報道関係者の皆さまは、事前に札幌医科大学広報担当 阿部までご連絡をお願いします。

また、本件に係る詳細は、会見当日に発表いたします。

PRESS RELEASE

会見会場：札幌医科大学基礎医学研究棟 5階会議室（札幌市中央区南1条西17丁目）

※ 南1条通りに面した茶色い14階建のビルです。

